

施策番号	1704		
施策名	健康危機に対する安全・安心の確保		
概要	新型インフルエンザをはじめとする感染症や食中毒等の健康危機事案に対し、市内の医療機関等との連携により、迅速かつ的確な予防と蔓延の防止対策を進める。		
担当局・部室	保健福祉局・保健衛生推進室	共管局・部室	
上位政策	17 保健衛生・医療		
施策に関する主な分野別計画等			

### 施策の評価

#### 1 客観指標評価

指標名	24年度	25年度	26年度評価						
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト	
1 腸管出血性大腸菌による感染症の発生件数(件)	a	a	27	47	27	25.9%	c	1.00	
2 定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数の全国比(%)	e	d	75.1	85.4	55.2	45.3%	e	1.00	
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	
		c	b	客観指標総合評価				d	

#### 2 市民生活実感評価

\*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	26年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 感染症や食中毒等の健康危機に対し、安全と安心が確保されている。	53	238	172	35	18	516	b	
	10.3%	46.1%	33.3%	6.8%	3.5%			
2							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価								b

### 3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている					25年度	B
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	d	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 健康危機に対する安全・安心の確保は、市民生活に密接に関わる施策であることから、市民生活実感調査を重視する。						24年度	B
(原因分析) 【客観指標】●腸管出血性大腸菌による感染症発生件数については、昨年度、施設及び家族内感染が発生したことにより、大幅な件数増加となったため、a→c評価と悪化した。 ●インフルエンザ全国比については、昨年度、インフルエンザの全国的な流行の影響を受け、本市においても大幅に増加(警報発令レベル)したことにより、d→e評価と悪化した。 【市民の実感】配信サービスや啓発チラシによる感染症の対策の情報提供により、昨年度に引き続きb評価と安定している。							

#### 今後の方向性の検討

#### <この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		26年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		25年度 決算額	26年度 予算額		
1	性感染症対策	17,612	17,111	良い	保健福祉局
2	エイズ対策	44,277	39,157	良い	保健福祉局
3	肝炎ウイルス検査	12,298	12,448	普通	保健福祉局
4	定期結核	57,664	62,703	良い	保健福祉局
5	定期外結核	25,160	27,846	良い	保健福祉局
6	結核対策特別促進事業	22,495	22,670	良い	保健福祉局
7	風しん予防接種(任意接種)	33,027	6,820	かなり悪い	保健福祉局
8	感染症予防対策	31,199	23,174	かなり悪い	保健福祉局
9	結核・感染症発生動向調査	38,235	40,553	かなり悪い	保健福祉局
10	O157等腸管出血性大腸菌対策	21,192	22,135	悪い	保健福祉局
11	風しん抗体検査	—	23,294	—	保健福祉局
12	成人用肺炎球菌ワクチン接種	14,888	248,933	かなり悪い	保健福祉局
13	飲料水衛生管理指導	110,272	110,985	良い	保健福祉局
14	建築物衛生(ビル衛生管理)	109,780	110,268	良い	保健福祉局
15	薬物乱用防止啓発事業	4,242	4,584	かなり良い	保健福祉局
16	京都市衛生環境研究所と京都府保健環境研究所の共同化による整備に向けた基本計画の策定	—	38,704	—	保健福祉局
17					
18					
19					
20					

\*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

#### <今後の方向性>

- 腸管出血性大腸菌などの感染症や食中毒等が実際に生じた際には、市内の医療機関等との連携により迅速・的確な予防とまん延防止の取組を進める。
- インフルエンザ対策として、予防接種の勧奨、手洗い及びうがいの励行等の予防方法についてネット配信、啓発チラシを通して広く市民や関係団体へ周知し、インフルエンザの感染拡大防止に努めていく。

施策名	1704	健康危機に対する安全・安心の確保
-----	------	------------------

指標名	腸管出血性大腸菌による感染症の発生件数（件）
-----	------------------------

担当課	保健医療課	連絡先	222-3411
-----	-------	-----	----------

**1 指標の説明**

○111, ○157等の腸管出血性大腸菌による感染症発生件数

**2 指標の意味**

感染症の発生状況を示す指標

**3 算出方法・出典等**

算出方法：各年度の発生件数の合計  
出典：事業担当課調べ

**4 数値**

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	27	47	20件増	27	過去5年間の最低値	25.9%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

**5 評価基準**

最新の数値が過去5年間の  
a：最低値未満  
b：最低値以上～下中間値（最低値と平均値の間）未満  
c：下中間値以上～平均値未満  
d：平均値以上～上中間値（平均値と最高値の間）未満  
e：上中間以上

**6 基準説明**

過去5年間の数値を基に、過去5年間最低値以下をa、平均値以下をcとし、最高値も含めた按分で基準を設定した。  
最低値：27件（平成24年度）  
平均値：54件  
最高値：92件（平成21年度）

**7 評価結果**

24	25	26
a	a	c

指標名	定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数の全国比（%）
-----	-----------------------------

担当課	保健医療課	連絡先	222-3411
-----	-------	-----	----------

**1 指標の説明**

インフルエンザの流行発生状況の指標となる定点当たり報告数の全国比

**2 指標の意味**

感染症の発生状況を示す指標

**3 算出方法・出典等**

算出方法：本市の定点医療機関当たり報告数（年間） / 全国の定点医療機関当たり報告数（全国）

**4 数値**

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	24年度	25年度		数値	根拠	達成度
数値	75.1	85.4	10.3ポイント増	55.2	過去5年間の最低値	45.3%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	本市の定点医療機関当たり報告数：252.9件（平成25年度） 全国の定点医療機関当たり報告数：296.1件（平成25年度）
----	--

**5 評価基準**

最新の数値が過去5年間の  
a：最低値未満  
b：最低値以上～下中間値（最低値と平均値の間）未満  
c：下中間値以上～平均値未満  
d：平均値以上～上中間値（平均値と最高値の間）未満  
e：上中間以上

**6 基準説明**

過去5年間の数値を基に、過去5年間最低値以下をa、平均値以下をcとし、最高値も含めた按分で基準を設定した。  
最低値：55.2%（平成22年度）  
平均値：70.6%  
最高値：77.7%（平成23年度）

**7 評価結果**

24	25	26
e	d	e